

平成31年度

# 予算・市政方針に要望

## 持続可能な行財政の確立と災害に強いまちづくりを

自由民主党京都市会議員団は、平成31年度に向け、市長に対し予算要望を提出しました。

我が会派では、これまでの門川市長による市政運営をおおむね評価する一方で、財政については公債償還基金や財政調整基金の取り崩し等の特別の財源対策が

いており、将来世代に対する負担の先送りを防ぐために、「はばだけ未来へ！京プラン後期実施計画」に掲げられている「持続可能な行財政の確立」を着実に前進させるよう強く要望しました。

また、予算要望では、福祉やまちづくり、産業、文化芸術振興などといった分野別の要望の他、これまで京都市内全域で市民の皆様から頂いた声に基づく行政区別要望、今夏の地震・豪雨・猛暑・台風などといった自然災害の多発に対応する更なる防災・減災の取組を前進させる要望などを精査し、227項目の要望書を市長に提出しました。

# 自民党京都市会議員団ニュース

平成30年(2018)11月11日発行

■発行人/井上与一郎  
■編集委員/みちはた弘之、田中たかのり、森田守、加藤昌洋、平山たかお  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.62



予算要望を提出している様子

またきち (京都市会マスコットキャラクター)

# 災害復旧支援 補正予算を可決

事業総額 96億5200万円

今年、大阪府北部を震源とする地震を皮切りに、平成30年7月豪雨、災害並みの酷暑、台風21号など数年に一度の規模といわれる災害が立て続けに起こりました。京都市においても人命被害こそなかったものの、道路、河川などの都市基盤をはじめ、学校施設、文化財、住宅、農林業などの生活基盤等も大きな被害を受けました。自由民主党京都市会議員団としてもこの間、相次ぐ災害に係る緊急要望書を市長に対して提出するとともに、7月特別市会において、災害対応の検証と災害体制の再構築を求める決議案を提出し全会一致で可決しました。そして今回の9月市会において、危険性のあるブロック塀への対策、被災者生活再建支援、都市・生活基盤の迅速な復旧等のための補正予算案(事業費総額96億5200万円)と災害対応の改善策の早急な実行を求める決議案を可決しました。我々は、これからも京都市会における最大会派の責任を自覚し、国会、府議会とも連携しながら、様々な危機をしながら乗り越え、いつまでも持続、発展が出来るレジリエントシティの実現のために全力を尽くしていきます。

## 議員報酬の1割削減分を災害復旧支援に関する補正予算事業の財源に活用

9月市会補正予算に伴う事業費総額 (96億52百万円)

事業		財源	
台風21号被害に伴う被災者生活再建支援、都市・生活基盤の迅速な復旧等	8億38百万円	77百万円	
大阪府北部を震源とする地震を受けたブロック塀対策の推進及び平成30年7月豪雨による被害への対応	40億80百万円	8億80百万円	財政調整基金
国の法改正や国庫支出金の追加認証に伴う経費	36百万円	7億11百万円	国支出金
その他	46億98百万円	29百万円	府支出金
		47億35百万円	繰入金
		2百万円	諸収入
		21百万円	繰越金
		31億97百万円	市債

削減した議員報酬 77百万円 活用

削減した議員報酬(7,700万円)を災害対策の補正予算に充当し、市の貯金である財政調整基金の取崩し額を縮小！

平成30年度議員報酬1割削減(平成23年度から継続)によって生じた7700万円について、9月市会において、大阪府北部を震源とする地震を受けたブロック塀対策の推進及び平成30年度7月豪雨による被害への対応に関する補正予算の財源の一部として

活用し、市の貯金である財政調整基金の取崩し額を縮小することを決定しました。自由民主党京都市会議員団は今後もスピード感を持って、災害の復旧支援に取り組みんでいきます。



# 未曾有の災害続発、対策急げ

## 区役所防災対策の強化 関電に災害早期復旧体制構築要請

山科区

### 富きくお議員

■富きくお議員（質問）今年度は地震、豪雨・二度にわたる台風と、立て続けに大規模な自然災害が発生し、本市においても被害が発生しました。一連の災害に関し、各々の対応を検証し、問題点や課題に対する改善策を早急に取りまとめ実行に移すべきですが、いかがですか。

■門川大作市長（答弁）災害対応について総括をした結果、

### ●富きくお議員の質問項目●

- 1 平成29年度一般会計決算と今後の財政運営について
- 2 大規模災害を教訓とした今後の災害対応について
- 3 自治会・町内会への加入率の低下と今後の地域コミュニティ活性化について
- 4 違法民泊に対する更なる取締強化について
- 5 子ども医療費助成制度の更なる拡充について（要望）

や、担い手の高齢化や不足など、地域コミュニティの現状が大変厳しい中、防災の観点からも地域コミュニティの果



倒木の被害があった京都市内の道路

ブロック塀対策、災害情報の伝達、指定緊急避難場所の開設・運営のあり方などの課題がうきぼりとなりました。また、台風では戦後最大を記録する暴風により多くの家屋被害や長期間の停電、倒木等による道路の通行止めが発生したが、地域と土木事務所が一丸となり解消に向け全力で取り組みました。

### 町内会加入率低下 地域活性化に知恵

■富きくお議員（質問）自治会・町内会への加入率の低下

たす役割は重要であり、活性化に向けた支援が必要と考えます。市営住宅でも入居の際、自治会参加に関して対策を検討する必要がありますが、いかがですか。

■門川大作市長（答弁）災害対応における地域のつながりの大切さを再認識したところ

であり、マンションに加えて戸建住宅の宅地開発にも自治会の設置・加入に関して事業者が地域と協議する「連絡調整制度」の対象とするための

条例改正を提案しています。今年度から地域コミュニティサポートセンターと、各区で区民のまちづくり活動を

支援しているまちづくりアドバイザーとの連携を進め、現場に向いて課題の把握や助言を行っております。市営住

宅についても、これまで以上に入居時にしっかりと説明し、強力に加入を促し、支援して参ります。

# 児童虐待の防止に向けて

## 区役所・地域・家庭の連携 京都府警と情報共有の協定を結ぶ

中京区

### 津田大三議員

■津田大三議員（質問）東京都目黒区で5歳の女の児が、両親からの度重なる虐待により死亡した事件を受け、政府は児童虐待に対する緊急の対策をすることとなりました。特に専門性や人員配置の強化が掲げられていますが、これを受け京都市はどうか対応するのか。また重症事案への発展

を防止するには、早期発見が最重要です。そのために、京都市の最も得意とする地域（保育所・民生児童委員など）との連携はどうか。更に、区役所・支所の「子どもはぐくみ室」がどのような体制で対応するのか。

併せて、警察との情報共有、連携強化について、どう考えているのか、お聞かせください。

■門川大作市長（答弁）本市では、全国トップクラスの児童福祉司の配置など、体制の充実に努めてきました。しかし、社会的な関心の高まり等を踏まえ、児童相談所の体制の更なる強化と、併せて地域とも連携し、子育て家庭に寄り

### ●津田大三議員の質問項目●

- 1 児童虐待の防止について
- 2 防災計画の見直しと今後の避難所運営について
- 3 中小企業の振興と地域の活性化について
- 4 中学校部活動について
- 5 後院通の整備と無電柱化について（要望）
- 6 西高瀬川の安全対策と歩道の拡幅について（要望）

添える、区役所・支所の子どもはぐくみ室における取組や支援体制も強化します。警察との情報共有については、本年11月の虐待防止推進月間までに共通のルールをまとめた協定を京都府警と結びます。

### 地域企業宣言の精神 活かした支援を

■津田大三議員（質問）景気

は、アベノミクスの効果もあり緩やかに回復しています。47全都道府県で有効求人倍率が1を超え、地方税の税収が過去最高の40兆円に達するなど、地方や中小企業にも良い影響が出始めています。このような中、京都市の中小企業の若手経営者を中心に組織する「未来力会議」より、「地域企業宣言」が提唱されました。これは地域に根差し、先義後利の理念などを大切に、地域とともに発展を目指すものとのことですが、まさに長期にわたる実効性のある中小企業支援に道を開くものと考えます。京都市はこのことをどのように捉え、地域の活性化と中小企業の発展にどのように取り組まれるのかお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）京都には地域にしっかりと根を張って何代にもわたり営まれてきた企業が多数多くあり、同時に、多くのベンチャーも生まれています。会社の規模を基準にせず、地域とともに継承・発展する「地域企業」との宣言を軸に、あらゆる政策・施策を総点検し、担い手不足・事業継承支援・企業間連携を促進し、本市域の内需拡大、ひいては京都経済の更なる活性化に向け全力で取り組んで参ります。



機能強化が期待される子どもはぐくみ室(中京区)

【代表質問】 9月市会 (9月27日)

# 西京区役所総合庁舎化へ

## 区民・市会の意見踏まえ

### 洛西地区は職住近接のまちづくり

#### 西京区 田中明秀議員

■田中明秀議員 (質問) 西京区役所と保健センターを一体とした総合庁舎を整備し、区民の利便性向上を図るため、早期に取り組んでいく必要があると考えますが、西京区役所の総合庁舎化の実現に向けての市長の決意をお聞かせください。あわせて、西京区全体を視野に入れながら、どのように洛西地域のまちづくりを総合調整していくのか、お

- 田中明秀議員の質問項目●
- 1 公営企業決算について
    - ・交通事業の今後の事業展開と市バスの混雑解消について
    - ・上下水道事業における収入増が見込めない中で危機管理対策について
  - 2 農業を支える農業用水路やため池等の水利施設の維持管理対策について
  - 3 受動喫煙防止対策について
  - 4 西京区役所の総合庁舎化と洛西地域のまちづくりについて
  - 5 洛西ニュータウンにおける小中一貫教育について
  - 6 新しい交通システムについて

考えをお聞かせください。

■門川大作市長 (答弁) 新たな総合庁舎の整備場所につきましては、UR住宅と合築となつて現庁舎の有効活用を図りつつ、東隣の上下水道局西京営業所跡地と南側の立体駐車場敷地を活用することとし、整備内容の具体化に当たりましては、区民の皆様の御意見や市会での御議論を踏まえて検討を進めてまいります。

また、洛西地域については、人口減少、少子高齢化が進む中、持続的な発展のため、阪急洛西口駅やJR桂川駅、大原野インターチェンジの開設等、交通アクセスが飛躍的に向上しているこの機を捉え、ベッドタウンから洛西らしい職住近接のまちを目指してまいります。

このため、洛西地域の教育環境の更なる充実、観光振興や働く場の創出による子育て世代の移住をしっかりと進めていけるよう、西京区役所総

合庁舎整備を契機として、全庁的な連携強化、区役所・支所の役割分担の見直しを行い、洛西支所における総合調整機能について検討して参ります。



西京区役所(上)と保健センター(左)

#### 市バス混雑対策に前乗り・後降り導入

■田中明秀議員 (質問) 市バスの混雑対策について、「前乗り後降り方式」等、分かりやすく実効性の高い施策を検討すべきと考えますが、いかがですか。

■山本耕治公営企業管理者 (答弁) 市バスの混雑対策は喫緊の課題であると認識しており、系統数を74から84に増

やし、バス車両を54両増車することで、路線・ダイヤの充実や利便性の向上を図って参りました。

田中明秀議員御指摘のキャリーバッグの持ち込みに対応した車両の導入及び、観光系統車両のデザイン変更については、現在、具体化に向けて検討を進めているところであります。また、バスの停車時間の短縮やお客様の車内でのスムーズな移動に効果のある「前乗り後降り」方式については、来年3月に洛バス100号系統に導入し、その後、順次、洛バス101号系統及び102号系統などの観光系統への拡大を図ることとしております。

# 景観・防災に無電柱化推進

## 品格ある街並み目指し 災害にも強いまちづくり

#### 東山区 平山たかお議員

#### 平山たかお議員

■平山たかお議員 (質問) 私

の地元である東山区において、寺院や神社などの歴史的遺産があり、多くの場所ので、いわゆる京都らしい景観に

触れることができます。今般の台風21号により、関電の管内だけでも、800

化首都・京都」にふさわしい品格ある街並みの実現に向け、無電柱化を進めて参ります。

#### 不適正民泊の根絶へ事業者を厳正に指導

■平山たかお議員 (質問) 民泊の適正な運営を確保するための本市の取組の状況や今後の方向性について、具体的にお答え下さい。

■門川大作市長 (答弁) これまで不適正な運営に係る通報があった場合は、直ちに調査・是正指導等を行い、大半は改善されており、悪質なルール違反がなお是正されないときは、業務改善命令や営業停止命令を行うなど、厳正な対応を行っています。

事業者に対しては、地域の不安を解消する具体的な取組への助言、指導を徹底し、地域住民に対しては、顔の見え

る関係づくりを支援してまいります。

今後違法民泊の根絶に向けた

現在、長期的な整備方針の策定に取り組んでおり、年内を目途に取りまとめたいと考えています。

最も大きな課題である整備費用の低コスト化を図りつつ、国の交付金の確保に努め、「世界の文



無電柱化された東山区のイメージ図

#### 平山たかお議員の質問項目

- 1 無電柱化の更なる推進について
- 2 持続可能な観光都市の実現に向けた情報発信の強化について
- 3 民泊対策について
- 4 まちの匠の知恵を活かした京都型耐火リフォーム支援事業について
- 5 難病対策について
- 6 京阪鳥羽街道駅のバリアフリー化について

け、一層取り組んで参ります。

#### 密集地の木造住宅防火対策支援拡充

■平山たかお議員 (質問) 今年5月に祇園町南側、7月に宮川町と、京都を代表する地域で火災が相次ぎ、こうした被害を目の当たりにすると、改めて密集市街地の木造住宅における防火対策の重要性を痛感します。木造住宅の防火対策に対しても、「まちの匠事業」のよつに、市民・事業者が自ら防火対策を行おうとする意識や行動を誘うための取組が必要ではないでしょうか。

■門川大作市長 (答弁) 議員御指摘の痛ましい火災を受け、私も火災時に燃え広がらないまちづくりに向けた市民の自主的な取組をこれまで以上に後押ししていく必要があると改めて痛感しております。今後、市民・事業者の方にとつて分かりやすく、使いやすい木造住宅の防火対策への支援策の充実を検討して参ります。

市民の皆様の思いをカタチに!! 自民党京都市議員団では、平成31年度も行政区ごとに地域の実情に応じた予算要望を行いました。そのうちの一部を行政区別に紹介します。

# 責任政党自民党!! 地域課題解決のために日々走っています!!

## 地域と共に、未来の京都を展望する

### 下京区

- ・梅小路公園へと繋ぐ西大路通～八条通の車道等の再整備
- ・劣化が激しい光徳公園東南側の運動広場の早急な再整備
- ・高瀬川の再生・親水空間の修景・整備などの水辺環境整備の継続



など 下村あきら

### 北区

- ・京都・京北線の狭隘箇所での早急な拡幅工事
- ・山間地道路の通行確保のための道路際の樹木除去
- ・原谷地域のバス（M1の北大路ターミナル行き）の早期増便



など 山本恵一 小林正明

### 南区

- ・西大路駅（北側に次ぐ南側駅舎）のバリアフリー化
- ・老朽化する南区役所対策と点在する市有地等文化的地域活性化計画の早期策定
- ・上鳥羽向日町線の延伸とバス路線充実



など しまもと京司 椋田隆知

### 上京区

- ・京都御苑周辺の転落防止の安全対策の継続
- ・NHK跡地活用は行政として地域住民の尊重
- ・小中一貫教育の理念から地域内の入学・通学区の不合理の改善



など 寺田一博 中村三之助

### 右京区



森田 守 田中たかひる 井上与一郎

- ・阪急西院駅周辺道路のバリアフリー化の推進
- ・七条通を含む都市計画道路・災害時危険な道路等の整備
- ・災害時等、山間地道路の通行確保のため通年で道路際樹木の除去

など

### 左京区

- ・北部山間地域と市街地を結ぶ花脊峠のトンネル化実現
- ・土砂災害防止法に対する避難所の整備

など



### 西京区

- ・地下鉄東西線の延伸、もしくはLRT等の運行で交通網の拡充
- ・芸大の跡地については公共性の高い施設整備
- ・阪急洛西口駅高架下における賑わいと利活用の促進



など 西村義直 田中明秀

### 中京区

- ・先斗町通や三条通河原町～三条大橋間をはじめ、無電柱化候補路線の早期実現
- ・後院通や三条通七本松～六軒町間等の道路環境整備の着実な事業実施



など 加藤昌洋 津田大三

### 東山区

- ・修学旅行生等の指定避難所の開設
- ・八坂通、茶わん坂など景観・防災の両観点からの無電柱化推進地域の拡大、実行
- ・新橋通など石畳舗装（石畳風舗装も含む）の更なる推進

など



平山たかお

### 伏見区



みちはた弘之 橋村芳和 繁 隆夫

- ・今後も醍醐コミュニティバスの安定運用に向けた施策の継続
- ・JR稲荷駅西側改札口の設置とJR・市有地を活用した環境整備
- ・府道三栖向納所線（2段区間）の速やかな改修工事

など

### 山科区

- ・バス待ち環境の整備と交通不便地域での更なるバス増便及び新設等
- ・西野道の新十条通以北の早期拡幅整備と新十条通の外環状線以東の早期整備



など 吉井あきら 富 きくお

31年度行政区別

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい

自民党京都市議員団

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 jimin3@nifty.com FAX.257-3091